

命の大切さを伝える虹のメッセージ

「あ～ちゃんの虹」 著者
林 智子さん(西上坂町)



撮影場所: 浅井文化スポーツ公園

「皆さんへの恩返しは、笑顔で生きること。そして命のメッセージを心込めて伝えていくこと」と娘の明音ちゃんの写真を胸に抱く林さん。写真撮影に集まってくれた子どもたちに、「生きていてくれてありがとう」と微笑みかけます。

明音ちゃんは、誕生が喜ばれたのも東の間、先天性心疾患から脳性麻痺を併発、重いしょうがいを背負います。医師からの絶望的な宣告が続く日々でしたが、明音ちゃんは小さな身体で頑張り続け、6歳で逝去するまでに数々の奇跡を起こします。そんな姿を見て、生きることは当たり前ではないと教わったといいます。「奇跡は起こるものではなく起こすもの。スポットライトを浴びなくても、今日1日

を命いっぱい生きるとも輝く命」。

明音ちゃんの頑張りを伝えたいと、娘との思い出を綴ったエッセイを出版。明音ちゃんの誕生日や命日など大切な日になぜかよく現れる虹を明音ちゃんからのメッセージだと感じ、「あ～ちゃんの虹」と名づけました。林さんはこの本を携え、悲しみも癒えないまま講演活動を始めます。

講演を通じ多くの人と出会い、次第に悲しみを乗り越える力となっていきます。「講演を聞いてわが子を抱きしめた」等の感想を聞いて心から嬉しい。寄せられる声が自分の力に変わってきました」。講演の内容も徐々に、娘の命の軌跡から、「すべての命の輝きや尊さ」を伝えるものに。「ダメな子、ダメな親はいない。どん

なに辛くても、生きることを諦めず、人と出逢い繋がってほしい。どんな命にも役割があるんです」。

林さんの今後の目標は、親をなくした子らの集える場づくり。「深い悲しみを持つ子が次のステップに進むには、感情を味わい尽くすことが必要。そんな子どもたちと繋がり、寄り添えれば」と語ります。

講演会は昨年だけでも40回。活動によって多くの人々が明音ちゃんに出会ってくれるのが嬉しいと語る林さん。「明音が道を照らして導いてくれているよう。人と人が繋がっていくことに喜びを感じています」。

林さんと明音ちゃんは、今日も人を繋ぐ虹の架け橋として、ともに命を輝かせています。

Smile * Smile *

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



いつも元気でやんちゃんこつやくん、これからも元気にすくすく育ってね。

藤居 航矢ちゃん (平成27年9月生まれ) (相撲町)

小川 奏奈ちゃん (平成27年8月生まれ) (高月町落川)



いつでも全力な奏奈ちゃん (^_^) 小さな顔いっぱいの笑顔がババとママの癒しです♡ これからもたくさん笑って過ごそうね!

まちの人口	平成29年1月1日現在	人口 120,123人	男 58,725人	女 61,398人	世帯数 44,960世帯
	平成28年12月中の異動	転入 198人	転出 242人	出生 69人	死亡 101人 婚姻 58件